

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年5月24日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20520323

研究課題名（和文）

江戸期著述の詩話の整理及び江戸時代の中国古典文学研究に対する多面的考察

研究課題名（英文）

Multifaceted consideration of Edo and Edo period writings of Chinese classical literature research

研究代表者 道坂 昭廣（MICHISAKA AKIHIRO）

京都大学・大学院人間・環境学研究科・教授

研究者番号：20209795

研究成果の概要（和文）：

本研究は、江戸期の中国古典文学研究の水準は、詩話に典型的に示されていると観点から構想された。比較的手に入れることが容易な資料として日本詩話叢書があるが、文字に間違いがみられるので、その校勘を行った。また江戸時代の詩話の典型として津阪東陽『夜航詩話』を選び、その訳注を作成した。さらに、これらの作業から、江戸期の詩話の多くが中国古典詩文を読むのではなく、それを書くために著述されていたという知見を獲得した。

研究成果の概要（英文）：

When the standard of the Chinese classical literature study of Edo period was shown in SHIWA(詩話) as for this study typically, it was elaborated a plan by a point of view. The document that it was easy to relatively obtain it included SHIWA- SOSYO(詩話叢書), but performed the school perception because a mistake was seen in a letter. In addition, I chose Tsusaka Toyo(津阪東陽) "Yako-siwa(夜航詩話)" as a model of SHIWA of the Edo era and made the translation with notes. Furthermore, from these work, I acquired the knowledge that was written this was not because most of SIWA of Edo period read a Chinese classic poetry sentence, and to write it.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	700,000	210,000	910,000
2009年度	700,000	210,000	910,000
2010年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2011年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・諸国文学

キーワード：中国文学・江戸漢詩・津阪東陽『夜航詩話』

## 1. 研究開始当初の背景

日本漢詩や日本漢文は次第に文学のジャンルとして注目・認知されてきている。特に江戸時代の漢詩文について、それを文学の一つとして積極的に位置付けようとする研究が盛んになっている。一方、江戸期の中国文

学研究の成果については、今に至るまで看過・軽視されたままである。しかし日本における文学研究の一部門として、この時期の中国文学研究の水準について考察する必要があると考えた。それは、この時期の中国思想研究に対する考察ほど、文学研究に対する考

察が進んでいないとも考えられたからでもある。

江戸時代の中国文学研究の水準を端的に示す資料として、この時期大量に作られた詩話に注目した。特に中国文学研究に特化した所謂漢文で書かれた詩話を手がかりとすることにより、その研究水準を測定することが可能と考えた。ただ、資料となるべき詩話類が充分整備されているとは言えない状態であったので、まず資料の整理収集が必要と思われた。また、日本詩話叢書は最も見やすい形で、詩話が集められているが、文字に誤りが多いように思われ、その校勘作業が必要と考えられた。

津阪東陽『夜航詩話』に訳注を附する作業を続けていたが、その過程で、『夜航詩話』によって、この時期の詩話の典型を提示できるのではないかと考えるに至ったので、この作業を通して、詩話の特色と、研究水準を具体的に浮かび揚げさせることを構想した。

## 2. 研究の目的

漢文で書かれた詩話を資料とし、江戸時代における中国文学研究の水準を測定する。そのために、整備が進んでいるとは言えないこの種の詩話を整理し、研究の基礎とし、また今後の進展に寄与する資料を作成する。この二点を研究の大きな目的とした。特に、前者の目的の具体化するために、『夜航詩話』を主要な考察の対象として選定し、訳注の作業とともに、江戸時代における詩話の著作としての特色をも明らかにしようとする。

それは江戸時代の中国古典文学研究を東アジアの同時代の研究状況のなかにおいて、正しい位置を与えようとするものである。さらにまた、日本の学術史において中国古典文学研究を正しく評価するための具体的な資料の提供をめざすものでもある。

## 3. 研究の方法

日本詩話叢書所収の詩話類を中心とし、それらについて校勘作業を行いつつ、江戸時代の詩話の特色の抽出を心がけた。また、津阪東陽『夜航詩話』の訳注作業とともに、この詩話が江戸時代の詩話全体のなかでどのように位置付けられるのか、またその著述目的および著述態度に対する考察を付け加えた。

これらの作業においては、日中のどのような漢詩文が引用され、どのように評価されているのかといった、「引用されていること」の意味について考察することとした。それは、そこから導かれる作品理解が、当時の文学研究の水準を端的に示すものと考えたからである。

次に、主に中国の詩話・文学理論書と比較し、江戸期の詩話が「詩話」としてどのよう

な共通性をもっているのかとともに、どのような独自性をもっているのかという点に着目しつつ検討をおこなった。

中国古典詩文がこの時期、東アジア共通の文学であったことは論を待たない。そのため、江戸期の日本が、所謂漢詩・漢文を自分たちの文学としてどのように受容していたかを明らかにするため、詩話中の文学評論の論拠の解明に努め、中国の評論をどのように受け入れたのか、あるいはどのように発展させたのかという問題意識から、その独自性と共通性を解明しようとした。

## 4. 研究成果

上記の問題意識に基づく作業と考察を通して、以下のような江戸期の詩話の特色を指摘することができた。

江戸期の詩話は、中国の詩話と同じように随筆的側面を持つものもある。即ち、それ自体が文芸作品として見なすことができるのである。しかしそのような詩話は数としては少数であり、多くは中国古典詩文をより良く読むという目的をもって著述されていたことが明らかになった。さらに掘り下げれば、より良く作詩・作文するための典型として、中国古典詩文が引用され、その解説が行われていたのであった。中国の詩話にはあまり見られない特色が、日本の詩話にあることが明らかになった。それは一面においては、教科書的と言えるかもしれないが、むしろその内容を詳細に検討すると、研究書と称することができるほど、中国古典詩文や日中の古典文学理論・評論に対する高度な理解と詳細な論証が行われていた。このような明確な目的から行われる具体的で豊富な詩文の引用と解説は、この時期の中国文学理解の深度と所謂漢詩文の運用能力を測定するための重要な資料とすることができるという確信を得るに至った。

このような知見については、『夜航詩話』を素材として、香港で開催された東方詩話学会において報告を行った。

また『夜航詩話』の訳注においても、中国古典文学研究書であるという観点を作業に加え、単に引用詩文を調査するだけではなく、津阪東陽が参考にしたと考えられる主に宋・明さらには清の文学評論書、また日本の詩話作品を調べ、それをどのように受容しているかという点を注釈に加えることができた。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計6件)

①道坂昭廣「津阪東陽『夜航詩話』訳注稿

(10) 査読有『歴史文化社会論講座紀要』  
第9号 pp.1-9 2012年

②道坂昭廣「淺談津阪東陽著《夜航詩話》」  
査読有『東方詩話學第七屆國際學術研討會  
論文集上』 pp.37-40 2011年

③道坂昭廣「『山紫水明』の刊行によせて」  
査読無池田明子著『山紫水明』（溪水社）所  
収 pp.1-7 2010年

④道坂昭廣「南摩綱紀『追遠日録（一名下  
野紀行）』訳注（下）」査読有『歴史文化社  
会論講座紀要』第7号 pp.1-12 2010年

⑤道坂昭廣「津阪東陽『夜航詩話』訳注稿  
（九） 査読有『歴史文化社会論講座紀要』  
第6号 pp.31-42 2009年

⑥道坂昭廣「南摩綱紀『追遠日録（一名下  
野紀行）』訳注（上）」査読有『四天王寺大  
学紀要』第47号 pp.431-447 2009年

〔学会発表〕（計1件）  
道坂昭廣 淺談津阪東陽著《夜航詩話》  
（中国語）2011.4.27～29 東方詩話學第七  
屆國際學術研討會＜香港/香港大学＞

〔図書〕（計0件）

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

道坂 昭廣 (MICHISAKA Akihiro)  
京都大学・大学院人間・環境学研究科・教  
授  
研究者番号：20209795

### (2) 研究分担者

( )

研究者番号：

### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：